

高文連石狩支部演劇発表大会
第1日目 上演1

北海道新篠津高等養護学校演劇部

羅城門あと

らじょうもん

作 加藤歩・山田勇氣(既成)

「人間の正義心なんて脆いんだ」

下人の行方は誰も知らない

10月3日(土) 11:30~

札幌市教育文化会館 小ホール

□チケット：500円（大会期間通し券）

※新篠津高等養護学校演劇部から前売りチケットを購入していただくと、本校上演の優先入場ができます。

□お問い合わせ

北海道新篠津高等養護学校

TEL:0126-58-3280

演劇部顧問 加藤歩

ストーリー

場所は京都。見学旅行で特別支援学校の生徒が訪れたのは羅生門跡。今は小さな公園になっていることにがっかりして、次の目的地へのバスを待っていると先ほどからの雨がやんだ。
経済的に苦しい家庭の二人の生徒がたまたま手にした財布から「羅生門」の下人と自分を重ねて・・・

作品について

「河童」や「或阿呆の一生」などで現在でもたくさんのファンをもつ芥川龍之介。作品は古典に着想を得たものも多く、「今昔物語集」に取材した「羅生門」もその一つ。本作「羅城門あと」は「羅生門」を基に脚色している。



「私、下人だわ。いつまでもいい人なんて、やってられない。」

経済団体や自治体における障がい者の法定雇用率は令和8年7月から2.7%に引き上げられた。また生活力や働く力を培うための支援として福祉事業所の充実も図られているように見える現在の日本。一方で子どもの貧困は7人に一人。G7ではアメリカについて2位の貧困率。貧困の連鎖から抜け出せない状況と羅生門の世界が重なって見えてくる。

本作では、主人公が金箔ソフトクリームを諦めたり、飛行機の機内サービスのジュースを限界まで飲んだりすることを笑いのネタにしていることに切なさを感じる。楽しいはずの見学旅行で見えてきたこととは何なのか。

してはいけないこと、しなくては生きていけないこと、人間の善悪のハザマで揺れ動く高校生の葛藤は人ごとではない。

後援会SNS

最新情報は
こちらから



facebook



instagram



X

フォロー
お願いします!